

2010年2月10日

報道関係各位

昆布盛ウィンドファームおよび浜中風力発電所における オジロワシのバードストライク事故防止対策に関する要望書を提出

財団法人日本野鳥の会(本部:東京、会長:柳生博 会員4万2千人)、日本野鳥の会根室支部、ニムオロ自然研究会の3団体はクリーンエネルギーファクトリー株式会社に対し、2010年2月8日付で、昆布盛ウィンドファームおよび浜中風力発電所におけるバードストライク事故の再発防止対策に関する要望書を提出しました。

《経緯》

北海道内では2004年以降、計16羽のオジロワシが風力発電用風車へのバードストライク事故で死亡しており、そのうち昆布盛ウィンドファーム(2004年12月10日、2007年4月28日)と浜中風力発電所(2008年10月19日)で、今までに3羽のオジロワシが死亡している。これらの地域は、オジロワシの営巣地が多だけでなく越冬地としても重要な地域であり、このままバードストライク事故が多発すれば、種の存続にも大きな影響を及ぼしかねない。よって、この2か所の風力発電施設を運営、管理するクリーンエネルギーファクトリー株式会社に対し事故の再発防止対策に関する要望書を提出した。

《要望書の概要》

1. 定期点検中のバードストライク事故発見の有無について[公表すること](#)
2. バードストライク事故の再発防止対策実施の有無について[公表すること](#)
3. 再発防止対策の方法およびその結果について[公表すること](#)
4. 事故が再発する場合には風車を一時停止し、新たな防止対策を検討すること
5. 公式回答を3月末日までに提出すること

《添付資料》

風力発電施設でのバードストライクに関する要望書

日本における鳥類の風力発電施設への衝突事故死の発見事例一覧

《要望書の提出先》

クリーンエネルギーファクトリー株式会社

《オジロワシについて》

全長69~92cm、北海道東部・北部で繁殖、北海道と本州北部で越冬。種の保存法に基づく国内希少野生動植物種。絶滅危惧IB類。国内推定個体数(繁殖期=約60つがい、越冬期=550~850羽)。脅威=森林伐採や開発行為による餌資源の減少・カメラマン・鉛中毒等

日本における鳥類の風力発電施設への衝突事故死の発見事例

場所・発電所名	出力・基数	種名・数	発生時期	発見者	出典他	法令等指定
1 北海道稚内市 宗谷岬ウインドファーム	1,000kW 57基	オジロワシ 1	2007年4月4日発見	事業者	2007年4月26日環境省発表	*
2 北海道浜頓別町 浜頓別ウインドファーム発電所・市民風力発電所浜頓別発電所	990kW 6基	カモ類 1	2003年発見	研究者	文献1. 胸骨のみ	
3 北海道幌延町 オトンレイ風力発電所	750kW 28基(全長3.1km)	オジロワシ 1	2006年6月8日発見		2006年12月5日環境省発表。新聞報道(同12月6日 北海道新聞他)	*
4 北海道留萌市 留萌風力発電所	400kW 6基	トビ 1	2003年発見	研究者	文献1. 羽毛のみ	
5 北海道苫前町 苫前太陽ヶ丘風力発電所	600kW 2基、1,000kW 1基	トビ 2	2003年発見	研究者	文献1. 2羽分の死体	
6 同上	同上	オジロワシ 1	2004年2月5日発見	通行人	2004年3月15日環境省発表。新聞報道(同2月7日 毎日新聞他)	*
同上	同上	オジロワシ 2	2009年3月23日発見	研究者	文献12	
同上	同上	オジロワシ 1	2009年4月4日発見	研究者	文献12	
同上	同上	オオセグロカモメ 5	2009年4月15日～9月3日発見	研究者	文献12	
同上	同上	トビ 3	2009年4月15日～9月3日発見	研究者	文献12	
同上	同上	ハシブトガラス 1	2009年4月22日	研究者	文献12	
7 同上	同上	オジロワシ 1	2007年1月25日発見	事業者	2007年1月27日環境省発表。新聞報道(同1月28日北海道新聞他)	*
8 北海道苫前町 苫前グリーンヒルウインドパーク	1,000kW 20基	オジロワシ 1	2004年3月15日発見	事業者	2004年7月27日環境省発表。新聞報道(同7月28日 北海道新聞他)	*
9 同上	同上	オジロワシ 1	2006年4月13日発見		2006年5月17日環境省発表。新聞報道(同5月18日 北海道新聞他)	*
10 北海道苫前町	全42基(合計)	オジロワシ 3	2007年7月～2008年6月	研究者	文献9	*
同上	全42基(合計)	海ワシ類 1	2007年7月～2008年6月	研究者	文献11	
同上	全42基(合計)	ノスリ 1	2007年7月～2008年6月	研究者	文献11	
同上	全42基(合計)	トビ 1	2007年7月～2008年6月	研究者	文献11	
同上	全42基(合計)	ハイタカ 2	2007年7月～2008年6月	研究者	文献11	
同上	全42基(合計)	オオセグロカモメ 5	2007年7月～2008年6月	研究者	文献11	
同上	全42基(合計)	ウミネコ 1	2007年7月～2008年6月	研究者	文献11	
同上	全42基(合計)	カモメ類 6	2007年7月～2008年6月	研究者	文献11	
同上	全42基(合計)	ハシブトガラス 3	2007年7月～2008年6月	研究者	文献11	
同上	全42基(合計)	ハシボソガラス 1	2007年7月～2008年6月	研究者	文献11	
同上	全42基(合計)	カラス類 5	2007年7月～2008年6月	研究者	文献11	
同上	全42基(合計)	ウトウ 1	2007年7月～2008年6月	研究者	文献11	
同上	全42基(合計)	ハシブトウミガラス 1	2007年7月～2008年6月	研究者	文献11	
同上	全42基(合計)	ウミスズメ 1	2007年7月～2008年6月	研究者	文献11	
同上	全42基(合計)	クロガモ 1	2007年7月～2008年6月	研究者	文献11	
同上	全42基(合計)	カルガモ 1	2007年7月～2008年6月	研究者	文献11	
同上	全42基(合計)	カモ類 1	2007年7月～2008年6月	研究者	文献11	
同上	全42基(合計)	キジバト 1	2007年7月～2008年6月	研究者	文献11	
同上	全42基(合計)	アオジ 1	2007年7月～2008年6月	研究者	文献11	
同上	全42基(合計)	ホオジロ 1	2007年7月～2008年6月	研究者	文献11	
同上	全42基(合計)	クロツグミ 1	2007年7月～2008年6月	研究者	文献11	
同上	全42基(合計)	ムクドリ 1	2007年7月～2008年6月	研究者	文献11	
同上	全42基(合計)	イワツバメ 1	2007年7月～2008年6月	研究者	文献11	
同上	全42基(合計)	イワツバメ類 1	2007年7月～2008年6月	研究者	文献11	
同上	全42基(合計)	不明 4	2007年7月～2008年6月	研究者	文献11	
11 北海道石狩市 いしかり市民風力発電所	1,650kW 2基	オジロワシ 1	2005年12月19日発見	事業者	2006年2月1日環境省発表。新聞報道(同2月2日 北海道新聞他)	*
12 北海道室蘭市祝津風力発電システム	490kW1基、1,000kW1基	オオセグロカモメ 1	2003年発見	研究者	文献1	
13 北海道根室市歯舞 根室歯舞風力発電	750kW 1基	トビ 1	2003年発見	研究者	文献1. 片翼のみ	
14 北海道根室市 昆布盛ウインドファーム	1,500kW 5基	オジロワシ 1	2004年12月10日(当日死亡)	通行人	文献2. 2004年12月13日環境省発表。新聞報道(同12月11日 北海道新聞他)	*
15 同上	1,500kW 7基	オジロワシ 1	2007年4月28日(当日死亡と思われる)	事業者	2007年5月18日環境省発表	*
16 北海道浜中町 浜中風力発電所	1,370kW 1基	オジロワシ 1	2008年10月19日発見(新しい死体)	通行人	新聞報道(2008年10月20日毎日新聞他)	*
北海道せたな町 瀬棚臨海風力発電所	2,000kW 10基	オオワシ 1	2009年11月24日(当日死亡)	事業者	新聞報道(2009年12月15日読売新聞他)	***
17 岩手県釜石市 釜石広域ウインドファーム(釜石市)	1,000kW 43基	イヌワシ 1	2008年9月20日(メス成鳥。ミイラ化した死体)	事業者	2008年11月14日環境省発表	**
18 岩手県大槌町 釜石広域ウインドファーム(新山高原)	1,000kW 43基	ヤマドリ 1	2005年4月6日(当日死亡)	通行人	文献3. 新聞報道(同4月13日 毎日新聞他)。停止中の風車の支柱への激突	
19 神奈川県三浦市宮川公園	400kW 2基	トビ 1	2003年4月11日発見	通行人	文献7	
20 愛媛県宇和郡伊方町二見	850kW 2基	トビ 1	2006年8月1日発見	通行人	文献8	
21 長崎県生月町 ぐるぐる公園生月風力発電所	500kW 1基、750kW 5基	トビ 1	2002年3月19日発見	研究者	文献4	
22 同上	同上	トビ 1	2006年10月2日発見	研究者	文献10	
23 長崎県平戸市堤 平戸風力発電所	600kW 2基	トビ 2	2006年8月20日発見	研究者	文献10. 1基に1羽ずつ	
24 長崎県西海市崎戸町(崎戸島)	750kW 2基	トビ 3	2004年4月6日発見	研究者	文献10	
25 同上	同上	トビ 1	2004年7月16日発見	研究者	文献10	
26 同上	同上	トビ 1	2005年9月12日発見	研究者	文献10	
27 同上	同上	トビ 1	2007年5月2日発見	研究者	文献10	
28 同上	同上	トビ 1	2007年8月21日発見	研究者	文献10	
29 同上	同上	キジバト 1	2005年3月21日発見	研究者	文献10	
30 同上	同上	ヒヨドリ 1	2003年12月16日発見	研究者	文献4	
31 同上	同上	ホオジロ 1	2002年12月23日発見	研究者	文献4	
32 同上	同上	ハシブトガラス 1	2007年8月13日発見	研究者	文献10. 羽毛のみ	
33 同上	同上	カラス類 1	2005年4月18日発見	研究者	文献4	
34 長崎県五島市(福江市) 五島岐宿風力発電研究所	400kW 3基	ミサゴ 1	2004年5月5日発見	研究者	文献5	***
35 同上	同上	ウミウ 1	2003年発見	研究者	文献5	
36 同上	同上	トビ 1	2003年5月4日発見	研究者	文献5. 6. 日本で初めての論文	
37 同上	同上	トビ 1	2003年10月21日発見	研究者	文献5. 6	
38 同上	同上	シロハラクイナ 1	2002年発見	研究者	文献5	
39 長崎県対馬市上県町子使壽山	600kW 1基	トビ 1	2005年発見	研究者	文献5	
40 沖縄県竹富町波照間島	280kW 1基	シロガラス 1	2001年4月18日発見	研究者	文献10	

* オジロワシ: 種の保存法の国内希少野生動物種、文化財保護法の天然記念物、環境省2006年版レッドリストの絶滅危惧IB類指定種。
 ** イヌワシ: 種の保存法の国内希少野生動物種、文化財保護法の天然記念物、環境省2006年版レッドリストの絶滅危惧IB類指定種。
 *** ミサゴ: 環境省2006年版レッドリストの準絶滅危惧に指定されている。
 **** オオワシ: 種の保存法の国内希少野生動物種、文化財保護法の天然記念物、環境省2006年版レッドリストの絶滅危惧IB類指定種。

文献1: 福田佳弘・高田令子・石山浩一(2004)風力発電用風車へのバードストライクシンポジウム報告書。ニムオロ自然研究会、根室市。
 文献2: 永井真人(2005)バーダー3月号。
 文献3: 祝田稔平(2005)ミサゴの海(日本野鳥の会宮古支部報)No.180(2005年4月号):2-3。
 文献4: 鴨川誠(2005a)長崎県生物学会誌No.60:52-56。
 文献5: 鴨川誠(2005b)長崎県生物学会誌No.59:49-53。
 文献6: 井上勝巳・竜島恵介(2004) Strix Vol.22:189-191。
 文献7: 阿部宏・宮脇佳郎(2006)BINOS13:61-63。
 文献8: 松田久司(2007)Strix Vol.25:105-107。
 文献9: 北野雅人他(2008)日本鳥学会2008年度大会講演要旨集,192。
 文献10: 日本野鳥の会自然保護室編(2008)野鳥と風力発電・ワークショップ記録集
 文献11: an ecological study on the causes of bird collisions at wind farms in Tamamae, northern Hokkaido, Japan(2008)北海道大学院修士論文(北野雅人)
 文献12: 日本鳥学会2009年度大会自由集会発表資料(北野雅人)

平成 22 年 2 月 5 日

北海道クリーンエネルギーファクトリー株式会社
代表取締役社長 鎌田 宏之 様

財団法人日本野鳥の会
会 長 柳生 博

日本野鳥の会 根室支部
支部長 細川 憲了

ニムオロ自然研究会
会 長 佐々木 弘往

風力発電施設でのバードストライクに関する要望書

拝啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は本会の活動にご理解をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、地球温暖化が深刻さを増す中、二酸化炭素を排出しない自然エネルギーへの利用転換の促進は、各国において重要な課題となっております。その中でも風力発電や太陽光発電は現在、技術の確立や利用効率のよさなどから最も注目を浴び、需要が増加している発電方法であると言えます。

風力発電は、自然界に無限に存在する風をエネルギー源として利用する点ではとてもクリーンな発電方法と言えますが、一方で、風力発電用風車の巨大なブレードに鳥類が衝突するバードストライクの発生など、生態系への影響が問題となっております。特に、希少な種が多い大型猛禽類の衝突死は、その種の存続をも左右するほど重大なものです。

北海道内ではこれまでに、オジロワシやオオワシ、トビ、カモメ類など、様々な鳥類のバードストライクが確認されています。中でも、国の天然記念物にも指定されているオジロワシのバードストライクは年々増加しているにもかかわらず、効果的な対策が実行されていないことは、大変深刻な問題だと危惧しております。貴社が運営する風力発電施設においても、オジロワシのバードストライク事故が複数回発生しております（昆布盛ウィンドファームにて2例、浜中風力発電所にて1例）。そして残念ながら、その後において貴社がバードストライクの再発防止策を講じているというお話は、未だに聞いておりません。

私共は、風力発電が環境だけでなく生態系のすべてに優しい、真にクリーンなエネルギーとなることを願っております。そこで、バードストライクの再発を防止するための対策等について、下記のとおり要望いたします。

敬具

記

1. 定期点検等の作業中における鳥類の死体発見の有無およびその内容について公表して下さい。
2. 貴社において、バードストライクの再発防止対策についてどのように検討しているか、また、その実施の有無についてお聞かせ下さい。
3. バードストライクの再発防止対策を既に実施、あるいはその予定がある場合は、対策の方法、結果および評価についてお聞かせ下さい。
4. バードストライクが再発した場合には、風車の運転を一時停止し、新たにバードストライクの防止対策を公開の場で検討してください。
5. 本要望書に対する公式回答を3月末日までに、要望三団体宛に書面をもって提出してください。

以上